

<フェスティバルシティ・オープン記念>
第55回大阪国際フェスティバル2017
大阪フィルハーモニー交響楽団創立70周年記念

Leonard Bernstein - MASS - バーンスタイン 「ミサ」

A Theatre Piece For Singers,
Players and Dancers

新制作
原語上演・日本語字幕付き
上演時間・約2時間20分(休憩を含む)

総監督・指揮・演出
井上道義

照明: 足立恒
美術: 倉重光則
振付: 堀内充
音響: 山中洋一

副指揮: 角田鋼亮
合唱指揮: 福島章恭
児童合唱指揮: 大谷圭介

舞台監督: 堀井基宏

<キャスト>
大山大輔 (司祭: バリトン)
小川里美 (ソプラノ)
小林沙羅 (ソプラノ)
鷲尾麻衣 (ソプラノ)
森山京子 (メゾソプラノ)
藤木大地 (カウンターテナー)
古橋郷平 (テノール)
又吉秀樹 (テノール)
村上公太 (テノール)
加未 徹 (バリトン)
久保和範 (バリトン)
与那城 敬 (バリトン)
ジョン・ハオ (バス)
ほか
ボーイ・ソプラノ (オーディション選抜)

管弦楽: 大阪フィルハーモニー交響楽団
合唱: 大阪フィルハーモニー合唱団
児童合唱: キッズコールOSAKA
バレエ: 堀内充バレエプロジェクト
大阪芸術大学舞台芸術学科舞踊コース

ミュージック・パートナー: 佐渡裕

■主催: 朝日新聞文化財団、朝日新聞社、大阪国際フェスティバル協会、公益社団法人大阪フィルハーモニー協会、フェスティバルホール
■協賛: 朝日放送、関電工、京阪ホールディングス、ココヨ、高砂熱学工業、竹中工務店、凸版印刷、西原衛生工業所
■協力: 大阪芸術大学

Music by Leonard Bernstein, libretto from the liturgy of the Roman Mass, with additional texts by Stephen Schwartz and the composer



この作品は私のすべてであり、
私の人生だ
—レナード・バーンスタイン
(L.バーンスタインと藤井知昭氏の往復書簡より引用)

2017年
7月14日(金) ▶19:00開演 (18:00開場)
7月15日(土) ▶14:00開演 (13:00開場)

フェスティバルホール

<お問い合わせ>
フェスティバルホール チケットセンター
06-6231-2221 (10:00~18:00)

表面デザイン・画: 伊賀斐一郎 (大阪芸術大学デザイン学科)

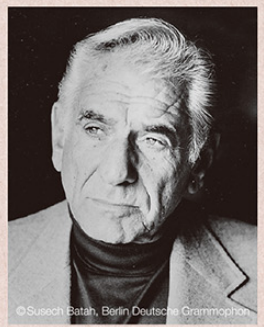
Leonard Bernstein-MASS-

「必見!!」

A Theatre Piece For Singers, Players and Dancers
20世紀を象徴する音楽家バーンスタインの傑作「ミサ」—— 23年ぶりに国内上演!

オーケストラ、歌手18人、混声合唱、児童合唱、ロックバンド、ブルースバンド、ダンサーら総勢200人が出演。
混沌とした社会に強烈なアンチテーゼを投げかけ、救いと希望を呈示する物語を、鬼才・井上道義が現代に映し出す。

バーンスタインの自画像 —— 井上 道義



レナード・バーンスタインの家系はユダヤである。バーンスタインはキリスト教が根幹のアメリカ合衆国で生まれながら、二千年前に世界へ離散させられたユダヤの末裔として生まれた二重性を抱えて生きた。また、世界的大ヒットとなったミュージカル「ウエストサイドストーリー」の作曲家と、ヨーロッパの古典的な文化全てを背負う「クラシック音楽の指揮者」の二重性もあった。

かつてバーンスタインは、日本初演をした名古屋グリーン・エコーの音楽監督・藤井知昭氏に、「ミサ」は「自分そのものの作品」だと語った。この作品は、当時の政府を批判し、善意の象徴としてのキリスト教の自滅を描き、疑う自由を良しとしながらも、権威に盾突き、小さな諍いが大きな殺戮にいつか転がり落ちるポピュリズムをも断罪している。だから、上演は、必ずその時の体制に牙をむき、平和への常識に反旗を振り、平和な家族愛さえも暴き、現実の薄い衣を剥ごうとする…重く、激しい作品だ。

1994年の「ミサ」舞台上演で、私は指揮と大規模な演出を行なった。日本でこの作品が意味を持てるようにと、思い切り体当たりで冒険をした。

この作品を再び上演するのにあたり、フェスティバルホール以上の環境はそう無いであろう。格別に幸福で不死身の私はこの運命に感謝している。そして23年前より欲張らず、わかり易い演出を心がけようと思う。



井上 道義(指揮)
Michiyoshi Inoue, Conductor

ニュージーランド国立響首席客演指揮者、新日本フィルおよび京都市響音楽監督、大阪フィル首席指揮者を歴任。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を務め、ラ・フォル・ジュルネ金沢を含む多くの実験的企画を敢行し続けている。2014年4月、病に倒れるが同年10月に復帰を遂げる。15年全国共同制作オペラ「フィガロの結婚」(野田秀樹演出)を総監督として指揮し、10都市14公演の巡回公演を大成功へと導いた。
<http://www.michiyoshi-inoue.com/>

大阪フィルハーモニー交響楽団

OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1947年創立。2001年までの55年間、朝比奈隆が常任指揮者・音楽総監督を務めた。大植英次の後を受け、2016年まで井上道義が首席指揮者を務め、尾高忠明が2017年ミュージック・アドヴァイザー、2018年音楽監督に就任予定。フェスティバルホールでの定期演奏会の他、全国で公演を行う。

<http://www.osaka-phil.com/>

大阪フィルハーモニー合唱団

OSAKA PHILHARMONIC CHORUS

大阪フィルハーモニー交響楽団の専属合唱団として1973年に創設。定期演奏会などの主催公演をはじめ、他楽団の演奏会にも広く出演。これまで、朝比奈隆、大植英次、井上道義、R.エリシュカほか、多くの指揮者と共演。合唱指揮者を福島章恭、トレーナーを大谷圭介。が務める。



大山大輔 | 小川里美 | 小林沙羅 | 鷲尾麻衣 | 森山京子 | 藤木大地 | 古橋郷平 | 又吉秀樹 | 村上公太 | 加来 徹 | 久保和範 | 与那城 敬 | ジョン・ハオ

2017年7月14日(金) 19:00開演(18:00開場) / 7月15日(土) 14:00開演(13:00開場) フェスティバルホール 大阪市北区中之島2-3-18

チケット料金

S席 9,500円 A席 8,500円 B席 7,000円 BOX席 15,000円 バルコニー BOX席(2席セット) 19,000円 学生席 1,000円 [全席指定(消費税込み)]

※バルコニーBOX席はフェスティバルホール チケットセンター(電話予約)のみの販売
※学生席はフェスティバルホール チケットセンターのみの販売(限定100席/25歳以下/学生本人の名前でご予約ください/当日指定席と引き換え/当日学生証を提示してください)

チケット一般発売日: 2017年2月5日(日) 10:00
●フェスティバルホール・クラブ会員予約受付開始: 2017年1月21日(土) 10:00
●フェスティバルホールオンライン会員予約受付開始: 2017年1月28日(土) 10:00

ご予約・お問い合わせ

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00~18:00) ※窓口での取扱は2017年2月6日(月)より(ただし残席がある場合のみ)
フェスティバルホール オンラインチケット(要事前登録) <http://www.festivalhall.jp> (PC・携帯共通)
大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 (平日10:00~18:00 土曜日10:00~13:00 日祝休み) <http://www.osaka-phil.com/> ※2月7日(火)より受付開始
プレイガイド

●e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> ●チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 319-516] <http://t.pia.jp/>
●ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応) / 0570-084-005 [Lコード: 55112] <http://l-tike.com/> ●CNプレイガイド 0570-08-9999 <http://cncn.jp/>
※やむを得ない事情により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。予めご了承ください。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

バーンスタイン「ミサ」満喫講座

①7月12日(水) 15:00-18:00 予定: 講座(講師/音楽評論家・山田治生氏 会場/レストラン・アラスカ ※お茶・ケーキ付)と舞台稽古見学(会場/フェスティバルホール)
②7月14日(金)もしくは15日(土): 本公演鑑賞 ※公演日は選択可能
●料金: ①と②で16,000円(消費税込、S席チケット料金を含む) ※申し込み先着順・定員制
●ご予約: 朝日カルチャーセンター中之島(06-6222-5224) ※受付開始日: 2月6日(月)
(ホームページ) <http://www.asahiculture.jp/> 主催: 朝日新聞社、朝日新聞文化財団、朝日カルチャーセンター